真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	チャイルドシート購入補助事業		担当課・係	健康福祉部　こども家庭課　子育て支援係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	1	子育て支援の充実		

成果指標

名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
合計特殊出生率	―	1.09					1.54
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

乳幼児の交通死傷事故防止と子育て支援のため、チャイルドシート等を購入した扶養義務者（父母）に、その費用の一部を補助する。
【対象者】(1)購入日に乳幼児が6歳未満であること　(2)購入日及び申請日に、当該乳幼児及び扶養義務者（父母）の両方が本市に住所を有していること
(3)扶養義務者（父母）及び世帯員が市税等を完納していること
【申請期限】チャイルドシート等を購入した日から1年以内
【補助金額】チャイルドシート等の購入価格（税込）の1/2　※補助金額の上限は1万円で、百円未満は切り捨て

・平成12年4月　道路交通法が一部改正され、チャイルドシート着用が義務化
・平成14年4月　乳幼児の交通死傷事故の防止を図るため「真岡市幼児用補助装置購入費補助金交付要綱」施行
・令和3年度　市民生活課からこども家庭課に所管が変更
※県内14市のうち鹿沼市、本市の2市で実施しているオンリーワン事業。

前年度の課題（Check）

チャイルドシートの普及啓発を目的として、多くの自治体が助成補助事業を実施されてきたが、チャイルドシートが定着してきたことから、目的の達成を理由に制度を廃止した自治体が多い。本市においても事業廃止を検討したが、子育て世帯への経済的支援を理由に事業継続となっている。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
6歳未満の乳幼児がいる家庭に対し、チャイルドシート等の購入費（1/2補助　限度額1万円）を補助する。

【2】結果と課題（Check）
チャイルドシートの申請件数は横ばい傾向で、年間平均で300件の申請があり、出生数に対してチャイルドシートの申請率は全体の7割程度であることから、子育て世帯に対して効果的な制度であるといえるが、当初の事業目的であったチャイルドシートの普及啓発は概ね達成したとして事業廃止を検討する必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　■ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・国で実施予定の出産費用無償化の制度を見極めながら、市独自で実施している子育て支援事業(出産準備手当支給事業、赤ちゃん誕生祝金支給事業、チャイルドシート等購入費補助制度、乳児紙おむつ購入助成券支給事業)について、令和8年度中に見直しの方針を決定する。

(2) 長期的な計画で検討すること
子どもの妊娠・出産・育児に対して効果的な支援を継続していくこと